

令和6年度かながわコミュニティカレッジ講座編成の考え方について

1 これまでの経緯（資料4別紙参照）

(1) 平成22年度～令和3年度

- ・ 中期的な課題を整理し、具体的な目標を明確に示すため、基本方針である「中期的な取組みの方向性」を3年に1度策定し、中期的な目標像、具体的な目標、育成すべき人材などを示してきた。

◆これまでの「中期的な取組みの方向性」における中期的な目標像

第1期 (H22～H24)	共助の仕組みづくりを担う人材や社会活動の中核となる人材等を育成するインフラの先駆的モデル
第2期 (H25～H27)	共助の社会に向けた仕組みづくりを担う人材や社会活動の中核となる人材等を育成するインフラの先駆的モデル
第3期 (H28～H30)	共助の社会に向けたしくみづくりを担う人材や地域・社会活動の中核となる人材等を育成するインフラの先駆的モデル
第4期 (R元～R3)	人生100歳時代を迎え、誰もが生き生きと暮らせる「共助の社会」に向けた県民の「学びの場」

(2) 令和4年度～令和5年度

- ・ 令和3年度第1回運営委員会において、第5期の策定を検討する際、事務局から、「中期的な取組みの方向性」を策定してから10年以上経過し、かながわコミュニティカレッジ事業の方向性が確立、定着したこと、また、昨今の社会情勢の変化が激しいことも踏まえると、3年間の「中期的な取組みの方向性」を新たに定めず、毎年度委員に意見をいただきながら、翌年度1年間のメインテーマを設定したい」旨、提案し、ご了承をいただいた。

(ただし、今後、社会情勢の変化により、再度、「中期的な取組みの方向性」を検討する可能性があること、また、年度ごとのテーマについては、翌年度も変更する必要がない場合、続けて同じテーマを設定することもありうること、が運営委員会で議論された。)

◆令和4年度メインテーマ

「コロナ禍を通じて見えた協働のまちづくり～多世代がつながる小規模ネットワークの構築に向けて～」

◆令和5年度メインテーマ

「地域での助け合いが広がる社会づくりを目指して」

<令和5年度メインテーマの趣旨>

- ・ 地域コミュニティの必要性・重要性が改めて認識されている。地域には様々な課題があり、様々な団体（町内会、自治会、NPO等）による活動が展開されている。
- ・ 地域で生じる多様な課題は、住民同士が主体的につながり、解決することが求められている。
- ・ そこで、住民のつながり方としては、ミッションを持って課題の解決に取り組むNPO、ボランティア団体等による活動と、住民どうしの助け合いによる地縁の活動など

が、重層的につながる「面」となって、互いに力を出し合いながら、協働のまちづくりを進めていくことが期待されている。

- ・ かながわコミュニティカレッジは「点」としての活動とあわせて、「面」としての活動を広げるために、地域コミュニティの活性化につながる活動の担い手育成を目指す。

2 令和6年度のメインテーマについて（案）

現在、県では、新たな総合計画の基本構想の策定作業を進めており、コミュニティカレッジの6年度のメインテーマについても、その議論を踏まえて、検討を行う必要がある。

県では、基本構想の検討にあたり、①少子高齢社会、人口減少社会への対応、②予測が困難な時代への対応、③神奈川の特色を生かしたまちづくり、この3点を県政の課題と位置付けており、その解決のため、NPOや地域、企業など多様な強みを持つ主体の力を結集し、多彩な人材が集まる神奈川ならではの支え合いによって課題を克服していくことを目指している。

令和5年度に設定したメインテーマ「地域での助け合いが広がる社会づくりを目指して」は、こうした県の認識とも方向性が合致していることから、令和6年度のメインテーマについては、引き続き、令和5年度と同様のテーマとし、継承・発展することとしたい。

3 令和6年度の講座編成について（令和5年度時からの変更箇所…朱書き）

(1) 必ず実施すべき講座

次の7つの分野（その他を除く）において、特定の分野に偏りがないように提案すること。

その際、可能な範囲で「入門（基礎、初級）講座」と「専門（実践、上級）講座」を組み合わせるといった工夫をすること。

また、県民ニーズを的確に把握した講座編成とし、必要に応じて同一講座の複数回開催などの工夫をすること。

- ①地域のつながり・支え合い ②災害救援・減災・防災 ③団体運営・ICT活用
④保健・医療・福祉 ⑤子どもの健全育成 ⑥人権 ⑦環境・SDGs ⑧その他

注1) 分野②「災害救援・減災・防災」については、災害ボランティア活動を新たに始めたい人のきっかけとして基本的な活動内容や活動にあたっての留意事項等を学べる「入門講座」と、ボランティアコーディネーターを養成することを目的とする「専門講座」を必ず提案に加えること。

注2) 分野③「団体運営・ICT活用」の例:ICTを活用して地域を活性化する講座など

(2) 可能な範囲で考慮すべき事項

ア ワークショップや活動現場を体験できる現地実習、社会調査の活用など実践的なカリキュラムを可能な範囲で盛り込むこと。

イ 提案する講座が全体のテーマの趣旨に沿う内容となるよう、「多世代」「地域での助け合い」「地域活動への参加」などの要素を可能な範囲で盛り込むこと。

なお、「多様な背景を持った人が生きやすい社会を目指す」視点についても十分に考慮すること。

ウ **新型コロナウイルス感染拡大を経て変容した**団体、法人等のニーズを踏まえた講座を可能な範囲で盛り込むこと。

各期の「中期的な取組みの方向性」【概要】

第1期 (平成22年度～平成24年度)	第2期 (平成25年度～平成27年度)	第3期 (平成28年度～平成30年度)	第4期 (令和元年度～令和3年度)	(令和4年度)	(令和5年度)
メインテーマ無	メインテーマ無	「共に支え合う共助の社会づくりを目指して」※H30のみ設定	「人生100歳時代における共助の社会づくりをめざして」	コロナ禍を通じて見えた協働のまちづくり～多世代がつながる小規模ネットワークの構築に向けて～	地域での助け合いが広がる社会づくりを目指して
<p>■中期的な目標像</p> <p>共助の仕組みづくりを担う人材や社会活動の中核となる人材等を育成するインフラの先駆的モデル</p>	<p>■中期的な目標像</p> <p>共助の社会に向けた仕組みづくりを担う人材や社会活動の中核となる人材等を育成するインフラの先駆的モデル</p>	<p>■中期的な目標像</p> <p>共助の社会に向けたしくみづくりを担う人材や地域・社会活動の中核となる人材等を育成するインフラの先駆的モデル</p>	<p>■中期的な目標像</p> <p>人生100歳時代を迎え、誰もが生き生きと暮らせる「共助の社会」に向けた県民の「学びの場」</p>	<p>■目標</p> <p>コロナ禍により顕在化した課題や新しい生活様式への対応に積極的に取り組む地域プレイヤーの育成・発掘、世代を問わない団体間の新たなつながりづくりを目指す</p>	<p>■目標</p> <p>NPO、ボランティア団体等による活動と、住民どうしの助け合いによる地縁の活動などが、重層的につながる「面」となって、協働のまちづくりを進めていく人材の育成を目指す</p>
<p>■育成すべき人材</p> <p>①これからボランティア活動を始めたい人やレベルアップを図りたい人</p> <p>②活動の中核となる人 (ア) 団体における次世代のリーダーとして活躍が期待される人材(リーダー人材)</p> <p>(イ) ボランティア活動希望者の参加コーディネートする人材(コーディネーター)</p> <p>(ウ) NPO等との協働による事業を行う企業や行政、公的機関の担当者等(協働人材)</p> <p>③課題を抱える人</p>	<p>■育成すべき人材</p> <p>①活動のすそ野を広げる人材 活動のすそ野を広げる人材(これから活動を始めたい人やレベルアップを図りたい人等)</p> <p>②活動の中核となる人材 (ア) 地域・社会活動の担い手として各団体で中核として活動する人材(「中核人材」)</p> <p>(イ) ボランティアの育成やボランティアのコーディネートができる人材</p> <p>(ウ) 企業や行政、公的機関に所属し、NPO等との協働による地域課題等への取組みを理解し、推進する人材(「協働人材」)</p>	<p>■育成すべき人材</p> <p>(ア) (NPOや地縁組織等)各団体で中核として活動する人材</p> <p>(イ) 活動の担い手の育成が行える人材</p> <p>(ウ) 活動の担い手等のコーディネートができる人材</p> <p>(エ) ボランティア団体やNPO等の立ち上げや活性化を支援する人材・法人設立やファンドレイジング、事業計画策定などの相談・支援を行う人材</p>	<p>■育成すべき人材</p> <p>①新たに地域・社会活動に参画する人材 地域・社会活動に新たに参画しようとする人材</p> <p>②地域・社会活動を発展させる人材 NPOや地縁組織の中核となって、活動をさらに発展させることのできる人材</p>	<p>■必ず実施すべき講座</p> <p>①地域のつながり・支え合い ②災害救援・減災・防災 ③団体運営 ④ICT活用 ⑤保健・医療・福祉 ⑥子どもの健全育成 ⑦人権 ⑧その他</p>	<p>■必ず実施すべき講座</p> <p>①地域のつながり・支え合い ②災害救援・減災・防災 ③団体運営・ICT活用 ④保健・医療・福祉 ⑤子どもの健全育成 ⑥人権 ⑦環境・SDGs ⑧その他</p>